

「172のころ」

3月の末、年長さんの卒園前の思い出作りにみんなで散歩に出掛けた3歳以上児さん。たくさん遊んで園に帰るとき、年長クラスの担任に年中児のHくんが「さくらぐみさんと手をつないで帰っていい？」と尋ねてきました。「もちろんいいよ！」と答えると「やったー！」と大喜び。

そして、年長児のSさんと手をつないだHくん。小学校の話になり、二人は違う小学校に進むことがわかりました。「でもね、〇〇くんや□□ちゃんもH君と一緒に小学校だから大丈夫だよ」と優しく声をかけるSさん。すると、Hくんが「ぼくね、Sちゃんのことずっと忘れないからね」と一言つぶやいたのです。園に帰ってからも二人は一緒に給食を食べ、かけがえのない時間を過ごしたのです。

もうすぐ卒園する年長さんとの別れを感じながらも温かく送り出そうとするHくんの言葉に胸が熱くなるようでした。

そんなHくんも今度は年長さん。これまで年長さんからもらった優しさと温かさをきっとまた年下の子にも伝えていってほしいのです。

いよいよ新年度のスタートです。新入園児さんも進級児さんも、胸いっぱいワクワクとちょっぴりの不安を抱えていることだと思いますが、そのすべての心の動きに寄り添って支えていきたいと思っています。



4月は、新入園児さんの泣き声でにぎやかな子ども園。おうちの方も、じか引きでかえるような思いで、お父さまの手を握って水ていることと、思います。一番新入園児さんの数が多い1歳児クラス。進級組さんだつて、言葉の交わりへの声援いや不安があるでしように、泣いている新しいお友だちに「大丈夫だよ」と伝えようとする姿がありました。大丈夫!! 優しいお友だち、温かい手はたまたまに、かまれて、今の泣きも必ず笑顔を変わります!! これから、一人ひとりが光輝く宝珠のよう日々を、子どもたち、おうちの方と共に手を取り合つて過ごしていけたらと思います。

新入園児の皆さん、武雄こども園よろこび。在園児の皆さん、進級おめでとうございます。お母さんの木の若葉の芽吹きと共に、新たな時間が始まります。

今年度も私たちが目指すのは園児さん、保護者様、職員が「自分らしく輝くことができる園」です。「自分らしく輝く」ためにまず必要なもの。それは「あなたは大切な存在」であるという思い。この温かな想いを、子どもはもちろん、園に関わる人すべてが持つことができたなら、それだけでもう、眩い光が見えます。今年度は園がどんな光に包まれるのか、今からとても楽しみです。1年間、どうぞよろしくお祈りします。

保護者の皆様、新しい環境に慣れようと頑張っているお子様です。大人も子どもも慌ただしく過ぎるこの時期、親子で眠りにつく前の静かな時間に、そっと小さな指を握りしめ、「あなたは私の大切な子」と優しく伝えてあげてください。そうしてお子様と共に、穏やかな日々を足踏み出す力に変えて頂いたらと存じます。

園でお子様をお預かりしている間は、微力ながら私たちがその思いと共にお子様を包み込んで参りますので、どうぞ安心してお仕事にまい進されてくださいね。

”あなたは あなた”

あかちゃんだった あなたは
からだごと ころを ふくらませ
ちいさな いちにんまえに になりました

そして さらに
あらゆることを あじわって
おおきな おとこのひとや おんなのひとに
なるのでしょう

でも あなたに とって
たいせつなのは

あなたが あなたで あること

『たいせつなこと』
マーガレット・ワイズ・ブラウン

